

# しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2020年3月号（通算第51号）

## 子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

このごろ、の子どもたちは「素晴らしい！」と思うことがたくさんあります。例えば、兵庫県の小学生5人は、庭で助けをよぶ91歳のおばあさんの小さな声に気付きました。手分けをしておばあさんをかいほうしたり救急車を呼んだりして助けました。山形県や奈良県でも小学生のお友達が同じようなよいことをしました。

このような小学生がお年寄りの命を救ったり、親切にしたりすることは、日本のあちこちで行われています。

皆さんも身の回りで困っている人がいたら助けてあげましょう。親切にしてあげましょう。自分たちだけでできないときは、無理をしないで、周りの大人に助けを求めましょう。



## 大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



電車の中で、小さな女の子が「ママ！ どうしてオリンピックはいやなの？」と、お母さんに聞いていました。お母さんは、困ったような表情でちょっと考えて、「オリンピックが嫌なのではなくて、オリンピックの年ということよ」と説明しました。少しおませな女の子は、「嫌だって言わないで、オリンピックの年と言えばいいのに！」と、反発しました。

そばにいた小学校中学年くらいのお兄ちゃんが、「イヤーっていうのは、年ということだよ。」と付け加えました。女の子は「フ〜ン！」と、納得したような表情をしました。

この頃、カタカナ英語が氾濫しているので、こういうことはたびたび起こります。ことを混乱させないためにも、ちょっと考えた方がよさそうです。

## 学校の先生がたへ

素晴らしいことを成し遂げたある人が、ある所で語っていたことです。「私の人生は決して平たんなものではなかった。99%は失敗と、悩みと、苦しいことだらけだった」と。「でも、諦めないで、希望を失わずなんとか頑張りぬけたのは、小学校6年生の時の担任の先生から『K君、これから思うようにいかなことがあるかも知れない。でも、希望は絶対にあきらめるな。成功した時は、100倍の幸せがやってくる。君なら最後はうまくいく。』と言われたことにある」と、述懐していたのが印象的でした。

教師の何気なく言った一言が、子供たちにじわりじわりと効いてくるのが少なくありません。それだけ、教師の影響力は大きいのです。頑張ってください。（BOKE 三宅）

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

